

進路だより(12月号)



早いもので2024年もあと半月となりました。今年も各部による進路(仕事)に関する学習や、児童生徒・保護者の方々による事業所見学など将来を考える時間が得られた1年になったのではないかと思います。特に今年は、早期(小学部)段階から地域にある福祉事業所へ見学に行ったり、夏休みに福祉事業所説明会を開催したりするなど初めての取組がいくつかありました。間もなく冬休みとなりますが、ご家庭でも今年の振り返りとして進路に関することを話題にしていただけると幸いです。よろしくお願いします。

さて、今回の進路だより(12月号)では令和7年から開始される「障害者就労選択支援事業」について、また「冬休みにご協力いただきたいこと」についてお伝えします。

障害者就労選択支援事業について



“就労選択支援”という言葉をお聞きになったことがありますか?これは令和7年10月から開始される制度です。本制度の目的は、「働く力と希望のある障害者に対して、障害者本人が自分の働き方について考えることをサポート(考える機会の提供を含む)するとともに、就労継続支援を利用しながら就労に関する知識や能力が向上した障害者には、本人の希望も重視しながら、就労移行支援の利用や一般就労等への選択の機会を適切に提供すること」とされています。一言で表すと“自己決定のサポートをしていく制度”ということになります。具体的な内容としては、以下の5点が挙げられています。

- 作業場面等を活用し、本人の強みや特性、本人が望む方向に進む上で課題となること等について、本人と協働して整理し、利用者本人の自己理解を促すことを支援する。
- 自分に合った働き方を実現したり、働く上での課題改善等に向けて、どんな方法で、何に取り組むのか、どこで取り組むのかについて本人と協働して考える。
※その過程の結果として、就労系障害福祉サービスの活用を含めた進路について本人が選び、決定していくことを支援する。そのため、就労選択支援は就労の可否を判断したり、どの就労系障害福祉サービスを利用するのかの振り分けを行うものではない。
- 本人の選択肢を広げ、本人の的確な選択につながるよう、支援の実施前後において、本人に対して、地域における雇用事例や就労支援に係る社会資源等に関する情報提供、助言・指導等を行う。
- アセスメント結果は、本人や家族、関係者等と共有し、その後の就労支援等に活用できるようにする。
- 就労選択支援利用後の就労支援等において、アセスメント結果が効果的に活用されるよう、就労選択支援事業所は計画相談支援事業所や市町村、ハローワーク等の就労支援機関との連携、連絡調整等を行う。

上記の情報は、先日行われました障害者就業・生活支援センターながさき運営協議会で、県の障害福祉課の方が説明して下さったことや配付資料から抜粋したものになります。説明の中で話されていたこととして、県の障害福祉課にもまだ詳細が届いていないため不確定な部分が多いとおっしゃっていました。このような状況下で説明をしていただきましたので、あいまいなところがあるかと思いますが、ご了承ください。現段階で分かっていることは、令和7年10月から就労選択支援という制度が開始するということです。対象者については、右上の表のようになっています。まず来年度、高等部3年生となる生徒で卒後B型事業所を希望する生徒が対象となります。

サービス類型		新たに利用する意向がある障害者	すでに利用しており、支給決定の更新の意向がある障害者
就労継続支援B型	現行の就労アセスメント対象者 (下記以外のもの)	令和7年10月から 原則利用	希望に応じて利用
	・50歳に達している者又は障害 基礎年金Ⅰ級受給者 ・就労経験ありの者	希望に応じて利用	
就労継続支援A型		令和9年4月から 原則利用	
就労移行支援		希望に応じて利用	令和9年4月から 原則利用

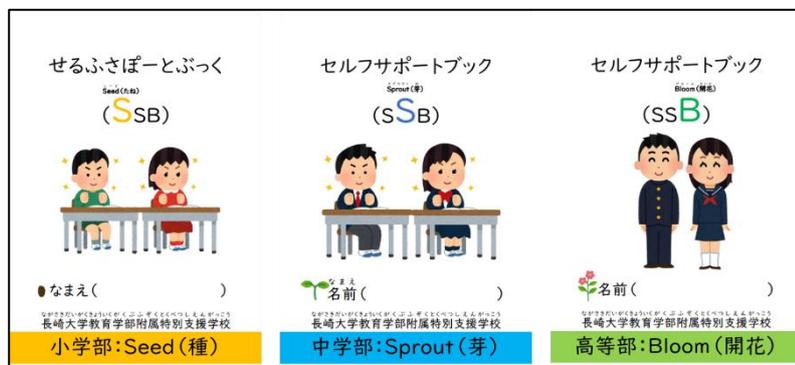
令和9年4月からは、卒後A型を希望する生徒も本制度の対象となります。その頃までには、詳しい情報も入って来ていると思います。来年度、高等部3年生になるお子さんがいるご家庭につきましては、高等部の進路相談の中で本制度について話題にさせていただきます。今後、就労選択支援について続報が入りましたら随時、進路だよりを通して情報提供します。



冬休みにご協力いただきたいこと

年末年始をはさむ冬休みは、ご家庭でも何かとお忙しいことと思いますが、クリスマスやお正月といったイベントが続くことから、冬休みが来るのを楽しみにしている児童生徒も多いかと思います。忙しい時期ですが、18日間の冬休みにぜひご家庭で手伝いをする機会を作っていただければと思います。前号でも手伝いについては少し話題に挙げましたが、早期から家庭において役割をもたせることはとても重要なことです。まずは、できることから始めることからはじめていただければと思います。例えば靴並べや食事の準備、洗濯物干し(畳み)やトイレ掃除など全てが難しい場合はそれらの手伝いの一部だけでも取り組むことができればと思います。

また、児童生徒が学校で作成に取り組んでいるセルフサポートブック(以下SSB)をご家庭に持ち帰りましたらぜひ、中身を見ていただければと思います。SSBは、自分の周りにある多くの情報から将来の生活に必要なことを整理したファイルになります。作成過程を通して自己理解を深めるという目的もあります。ご家族の方にもSSBをご覧ください、内容の確認や学校で記入が十分でない部分の追記をお願いできればと思います。



左の図は、各部SSBの表紙です。段階に応じて意味付けをしました。

小学部・・・Seed(種)

中学部・・・Sprout(芽)

高等部・・・Bloom(開花)



引き続き保護者の皆様の声をぜひお聞かせください

進路に関する保護者の皆様の疑問をぜひお聞かせください。

「年金はいくらあるの?」や「将来に向けて家庭でできることは?」など、どんなことでもかまいません。右記の二次元コードを読み取っていただき、御入力ください。

